

コロナに負けるな！『ニッポンがんばれ！基金』設立趣意書

新型コロナウイルスの影響で経済活動は停滞しました。多くの企業が存続を脅かされ、閉店を余儀なくされる個人商店も続出しています。それに伴い多数の人々も経済的な窮地に追い込まれています。

そして、人々の生活から様々なものが消えました。旅行をすることも、買い物に出かけることも、気の置けない仲間とお酒を飲むことも自粛せねばなりません。週末にスポーツを応援する事も出来なくなり、高校生が積み重ねてきた研鑽の集大成を披露する場であった甲子園もインターハイも中止となりました。舞台や映画、多くのエンタテインメントも我々の生活から消えました。

一刻も早くこのウイルスを抑え込む必要があります。しかし、連日連夜新しい感染者の数、残念な事に死者の数も報道され続けているのが現状です。それは同時に医療の現場がより切迫した状態に向かいつつある事を意味します。

現在、医療の現場では、感染症治療に必要な防護服、N95マスク、医療用ゴーグルなどが不足しています。本来であれば使い捨てであるそれらを洗浄して使いまわしている現場の様子をよく報道でも目にするようになりました。また、それらの不足により院内感染も生じています。

このため私たちは、次のような活動を展開することとして、コロナに負けるな！『ニッポンがんばれ！基金』を設立しました。

今回の基金では、日本における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む、個人・団体・事業者・医療機関・自治体などに対して、下記のような緊急助成を行います。

1 医療機関へのマスクや手袋、防護服、ゴーグルなどの医療用品の支援。

2 新型コロナウイルス感染症の予防、診断、治療のための研究・開発費用

3 その他、当財団の理事会で特別に認めた新型コロナウイルス関連の費用

なお、この寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。また東京都区市町村など多くの自治体では、個人住民税の寄附金控除の対象となります。ぜひ、この趣旨をご理解の上、最前線で新型コロナウイルスと戦う医療従事者の方々のお手伝いをするため、家族でどこへでも出かけることが出来る日常、スポーツ選手が汗を流す姿を応援できる日本を取り戻すため、絶大なるご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

2020年4月吉日

コロナに負けるな！『ニッポンがんばれ！基金』 発起人一同

発起人代表 井上 康生

発起人 高田 真希

発起人 滝島 一統